

安楽寺再調査(上田市)

前方に見えてくるのが国宝安楽寺裳階付八角三重塔(木造)



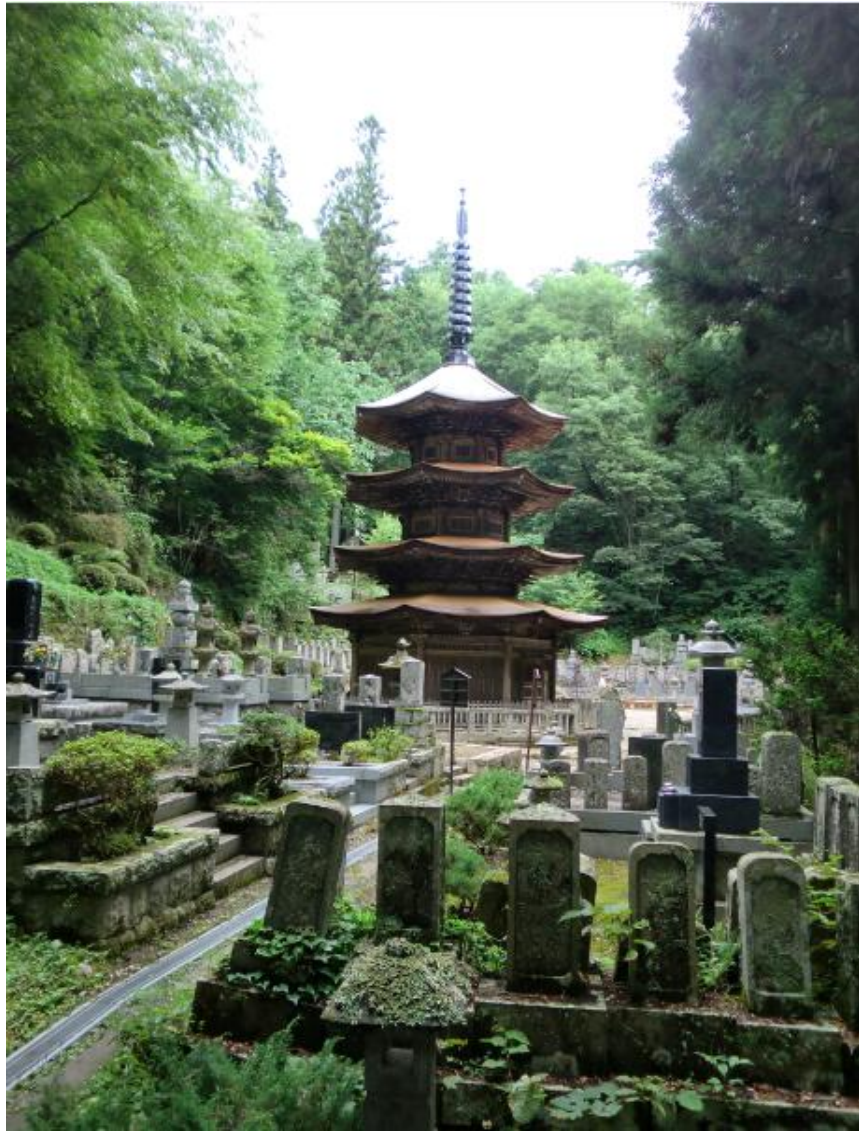
昼なお暗いような桧・杉の木立ちの中に佇む





初層の屋根は裳階である





安定感と崇高美と華麗さを兼ねそなえた塔である



鎌倉時代後期建立の禅宗様とされる





屋根は柿葺き



国宝安楽寺八角三重塔

説明

国宝指定

昭和二十七年三月二十九日文化財保護法の規定により

世界文化の見地から価値の高いもので、たぐいなき国民の宝として国宝に指定された。

構造形式及び規模

構造形式

規模

八角三重塔

もこし柱間一辺柱真々八尺四寸七分二、七九米

初重もこし、こけら葺

附

もこしの軒出柱真から茅負下端まで

仏壇 一基

三尺九寸八分一、一八米

棟札 一枚

もこしの軒高、茅負下角から礎盤上端まで

一〇尺一寸四分五厘 三、三五米

全高、相輪頂上から礎石上端まで

六十一尺九寸 一八、七五米

建坪

九坪八合五勺

※貞享元年甲子年三月二十三日の記がある。

当地には、天平(七二九)七四九年 奈良時代)年間に僧行基が建立した安楽、常楽、長楽(疾寺)があつたと伝えられているが、明らかでない又この三重塔についても明徴を欠くが貞享元年(一、六八六年江戸時代)の修理棟札によれば天長(八二四)八三四年貞観時代)年中に建立、北條時頼が再興、文禄十二年(一、六〇三年桃山時代)に葺替え承応三年(一、六五四年江戸時代)に葺替え更に貞享元年に修理を行ったことになっている。その他に記録がないので明確ではないが形式手法から鎌倉時代(一、一八五)一、三三三年)末期か又は室町時代(一、三三四)一、五〇二年)初期に建立されたものと認められる。

なお当寺所蔵の重要文化財、惟仙和尚及び惠仁和尚の木像に嘉暦四年(一、三二九年鎌倉時代)の銘があるので、あるいは、その頃の建立であるかも知れない。

この塔は、禅宗様八角三重塔の初重に、もこし、をつけた珍しい形式であるうえに細部もまた禅宗様の形式よりなり類例がすくない塔の内部は、周囲を外障とし土間床で化粧屋根裏をあらわし、八角形の内障は、高床を張り周囲を開放し、天井は中央に天蓋を吊り、その周囲に小天井を張った、あまり見られない形式である。内障には同時代と思われる禅宗様八角の仏壇が置いてあるが、この形式もまた特殊なものである。

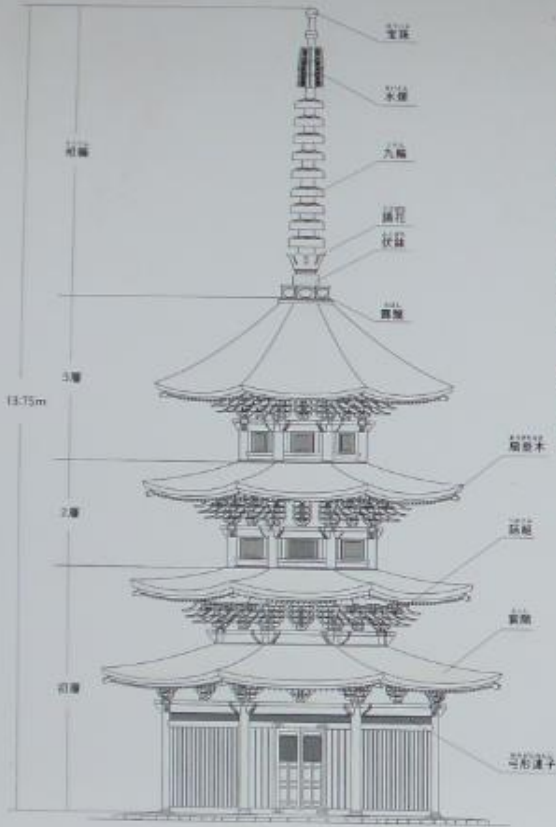
内外共に巧みな意匠と類例のすくない、形式よりできている。この塔は、わが国で唯一の八角の禅宗様塔婆としても且つは禅宗寺院に残る塔婆としても極めて貴重な文化財である。

国宝 八角三重塔説明

この塔は一見、四重塔に見えるが、昭和二十七年長野県最初の国宝として指定された折里、初重の屋根はひさしに相当する「裳階」であるという見解で、裳階付き八角三重塔として認定された。

建立年代については詳らかではないが、安楽寺が鎌倉北条氏の外護によって栄えた寺で、開山樵谷惟仙禅師が入宋僧、二世幼牛恵仁禅師が中国よりの帰化僧として住職していた頃、また当地に守護として信州一円に威を張った塩田北条氏が館を構えていた鎌倉時代末期（一二七七〜一三三三）以外に考えられないというのが定説になっている。塔は本来、仏舍利（釈迦の遺骨）を奉安したものだ、中世以後は特定の人物や戦死者の供養のために建てられた例が多く、恐らくこの塔も北条氏の供養塔として建てられたものと考えられる。

建築様式は当時、中国宋代の先進技術であった唐様（禅宗様）を用い、扇垂木・弓形連子・詰組など、和様の塔とは違った重厚な佇まいを見せている。八角塔は奈良・京都などに記録として残されているが、それらが失われた今日、我が国に残された唯一の八角塔であり、禅宗寺院に残る塔としても極めて貴重な遺構である。



※三重塔は仰いでお参りすることが大切です。山の上から眺めおろすものではありません。
※墓地の中には入らないでください。

安楽寺

日本で現存する唯一の木造八角塔という











詰組の様子が分かる



弓形連子の様子が分かる





上層は三手先の詰組だが、初層の裳階部分が出組の詰組となっている



正面のみ唐棧戸、他は板壁になっている



台輪が廻る



扇垂木の様子が分かる



自然石の礎石と柱の間には礎盤が入る



下には本堂等がある



曹洞宗

崇福山安楽寺案内図

安楽寺は天長年間（八二四～八三四）に開かれたと伝えられる寺で、鎌倉時代中期には鎌倉北条氏の外護により禅寺として栄え、多くの学僧を育てていた。しかし北条氏滅亡（一三三三）後は、寺運も傾いて正確な史料も残らないが、国宝・重要文化財等数多くの文化遺産を蔵して、信州最古の禅寺のおもかげを残している。



●草や木を大切にしましょう。
●当寺境内全て禁煙です。

国宝八角三重塔拝観時間

- ・ 3月～10月：午前8時～午後5時
- ・ 11月～2月：午前8時～午後4時

なお、他の建物については既報告書（別所温泉周辺を巡る旅）を参照のこと

参考ホームページ

<http://www.anakuji.com/keidai/keidai.htm#>

<http://museum.umic.ueda.nagano.jp/map/document/dot1.html>

<http://www.anakuji.com/keidai/img/hakaku.htm>

<http://www.kokuhoworld.com/012.html>

http://www.bessho-spa.jp/j_kojikotou/k_anakuji/anaku_k.htm

<http://www1.ocn.ne.jp/~oomi/anra.html>

<http://kankodori.net/japaneseculture/treasure/026/index.html>

<http://www010.upp.so-net.ne.jp/teiryu/Nn04.html>

<http://homepage2.nifty.com/K-Ohno/a-map/Nagano/3637-AH-temple/04-AH.htm>

<http://members.jcom.home.ne.jp/urawa328/anakuji04.html>

<http://www.geocities.jp/kawai5510/nagano-anakuji.htm>

